

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 街路樹の今後の維持管理について(10分)</p> <p>市内の多くの街路樹を見ると、本来求められる豊かな緑を形成しているとは言い難い状況です。街路樹の多くは植栽してから長い年月が経過して、植栽時の想定をはるかに超えて成長して大木化又は老木化したことにより、交通安全の阻害、腐食や強風による倒木など課題が山積しており、隆起した歩道も問題となっております。街路樹を取り巻く環境の変化を見据えて、今後の中長期的な維持管理の在り方を検討する必要があると考え、以下伺います。</p> <p>(1) 植栽管理の現状と課題について</p> <p>(2) 県との連携について</p> <p>(3) 今後の具体策について</p>	市長
<p>2 「ハイリー・センシティブ・チャイルド(HSC)」の理解について(10分)</p> <p>「音や光、においに敏感」「気を使い過ぎて疲れやすい」など、人一倍繊細な特性を持つ子どもは「ハイリー・センシティブ・チャイルド(HSC)」と呼ばれ、5人に1人が該当するとされ、不登校の原因になっている可能性もあるといわれます。よく混同されるのが「発達障がい」で感覚過敏や細かい点へのこだわり、集団になじみにくいなどの特徴が共通しており、小学校低学年までは見分けにくく、学校現場ではHSCは周囲から理解されず、本人が悩みを抱えやすくなっているのが現状です。</p> <p>全国からHSCの相談を受けているNPO法人千葉子ども家庭支援センターの杉本景子理事長(公認心理師)によると、「学校の先生が怒鳴るのが怖い」との相談が多い。「自分が叱られていなくても、ピリピリした教室の雰囲気から大きな負担を感じてしまう」と話す。考え深さゆえに授業で手を挙げられず、先生から「積極性が足りない」と心配されることもある。本人は頭をフル回転させて授業に参加していても、表面的に活発な子が評価され、自信を失うことも多い。本人が理不尽に感じる事が蓄積すると学校に行く気力を保てなくなり、不登校につながることもあるとのこと。</p> <p>このような観点から学校現場での周知について伺います。</p>	教育委員会教育長

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p data-bbox="172 271 983 304">3 パートナーシップ認証制度の導入について（10分）</p> <p data-bbox="164 327 1123 600">性的少数者（LGBT）のカップルを自治体が公的に認める「パートナーシップ宣誓制度」の導入が各自治体で広がっています。近隣では川越市、坂戸市が昨年より「パートナーシップ宣誓制度」を開始しております。性の多様性への理解が広まる中で、性的少数者の方が安心して暮らせる取組を本市も進める必要があると考え、以下伺います。</p> <p data-bbox="185 622 802 656">（1）市の認証制度の導入の検討について</p> <p data-bbox="185 678 536 712">（2）今後の方針につて</p>	市長